

読者のみなさんでつくる

みんなの 広場

「身近な出来事やイラスト」

「テーマトーク」募集中!

今後も地道な活動を

心配なのは、能登に過疎の拍車がかかること。なんとか打開する策の一つが生協活動。今後も地道な活動をお願いします。

金沢市 やまおとこ

新生活にワクワク

震災をきっかけに古い家具の他、古本など家財の断捨離をしました。輪島での職を失ったので、最近七尾で新しいアルバイトを始めました。コープいしかわの宅配も今年からお世話になっています。年初めは心も体も病んでいましたが、今は何もかもが新鮮で、思いもよらぬ新生活にワクワクもしています。還暦を過ぎても人生100年時代、まだまだ新しいことに挑戦していきたいと思います。

七尾市 じよみ

早く自分で料理したい

地震の日から、さわやか交流館ブルー、金沢、穴水と、いろいろな避難所のお世話になり、今は娘宅です。家はいつ直るのか心配です。早く自分で料理したいと、友だちと話をしながら頑張っています。そのときにヨーグルト料理もしてみたいです。

穴水町 キヨッペ

買い物難民から脱出

地震後、金沢市に集団避難をして、4月12日(金)によく仮設住宅に入居できました。周辺に店がなく、悪路の中、遠くまで買い物に行っていました。生協さんが来てくれて「買い物難民」から救われました。避難所で食べられなかった甘い物やアイスクリームを購入でき、幸せをかみしめています。ありがとうございます。

輪島市 みーさん

じいちゃんの畑

3歳の次男はじいちゃんの畑が気になるようで、毎日のように畑に行きます。初めのうちは、植えてすぐ作物が実ると思っていたようで、植えたその日から、トマト、なすびができていないかチェックしに行き、「まだやねえ」とがっかりしていました(笑)。おかげでいろいろな野菜を覚えることができ、感謝です。

かほく市 よしきち



金沢市 レンタラ(9歳)

恐怖を癒やすには?

元日の地震の恐怖から解放されつつあった4歳の息子。しかし、6月初めの緊急地震速報の音でまた恐怖がよみがえってしまい、毎日のように布団を頭までかぶって寝るようになってしまいました。いっどこで起こるかかわからない地震。子どもの気持ちをどう癒やせばいいのか、悩む日々です。

加賀市 はっちママ

さかさ傘

娘より、さかさ傘をプレゼントしてもらいました。傘立てがなくとも自立!雨でも持ち歩きに濡れない!おしゃれです。そしてなんと傘をさしたらフラワーシャワーの花びらがいっぱい舞い散り、最高の贈り物でした。

七尾市 能登さかな

テーマトーク

今月は

スイカ

食べたかった

今から数十年も前の6月上旬のこと。そのとき私は文金高島田を結い上げた23歳の花嫁でした。ただただ緊張だけの結婚式、そして披露宴。宴のコース料理には一切手を付けることなく式は粛々と進んでいきました。空腹じゃなかったのかと言われるとその通りで、ただ緊張で喉に物が通らなかつただけ。そして最後のデザートに出てきたのは、おいしそうな赤いスイカでした。初めて食べたいと思いました。でも花嫁が手を付けることはためらわれて、私は黙って見つめただけでした。あのときのスイカ、食べたかったなあ。

小松市 へのへのもへじ

手伝い

祖母が農業をしていた小学生の頃、夏休みにスイカの収穫のお手伝いをするがありました。畑でもぎとったスイカをトラックに大切に載せ、選果場でベルトコンベアにまた載せていく…。体力勝負のきつい仕事です。農家の皆さんありがとうございます!体を大切にしてください!!

金沢市 ゆゆ

息子の勝ち

ちまたで話題のスイカゲームにハマった息子が、先日ついにスイカ売り場で動かなくなりました。どうしてもスイカを1玉買ってほしいとダダをこねる息子と、1玉でなくカットしたパックのスイカで勘弁してほしい私との攻防。最終的に私が折れて、小玉スイカを1玉購入。3歳児が一生懸命に両手で抱えて持ち帰ったスイカは、とても甘くておいしかったです。

金沢市 ともま



白山市 松武ちゃん

冬のスイカ

父が逝ってからずいぶん経ちましたが、生活の中で思い出すことがあります。戦争を体験し、空襲警報が響く中で私の姉を育て、贅沢を敵として生活していました。そんな父が、寝込むことが多くなった寒い冬の日、スイカが食べたいと言いました。周りにいた家族は一瞬パニックになりました。当時奥能登で冬にスイカを手に入れることなど不可能でした。当然、父の思いに添えて

あげられませんでした。この頃はフルーツや野菜の季節感が薄くなっていますが、スイカだけは圧倒的に季節感あるあるです。暑い夏のスイカは生きている喜びさえ感じます。今年もスイカの季節が近付いてきました。

金沢市 ゆきばあ

種飛ばし

20年ほど前の夏休みのことですが、北陸道のサービスエリアでスイカの種を口から遠くへ飛ばすイベントに夫と子どもたちが参加しました。夫は2等賞で、子どもたちは参加賞でした。その後しばらくはスイカを食べるたびに庭に出て種を飛ばす練習をしていました。近所の人はなんて行儀の悪い家族だと思ったことでしょうね。

小松市 ゆうゆう



加賀市 丸秘幽霊那

おたより募集中
募集テーマは

手伝い

くみかつレポーターによる活動報告



石川西地域協議会

「新町和子先生のヘルシー料理教室」



くみかつレポーターのちいです。新町和子先生のヘルシー料理教室に参加しました。先生は教え合い講師であり、石川西地域協議委員の一員でもある新町和子先生です。メニューはコープいしかわ「減塩・かさ増しレシピコンテスト」で受賞した厚揚げの豚肉巻き酒かすみそ炒めと豚肉と新玉ねぎの温しやぶサラダ。久しぶりの調理実習でしばしの歓談ができました。

開催日 6月5日(水)
場所 金沢勤労者プラザ 参加者 26名
講師 教え合い講師 新町 和子氏

能登地域協議会

「フードドライブ」



くみかつレポーターのりんどうです。震災後初めて能登地域でのフードドライブを開催し沢山の食品を提供いただきました!!1日限りの開催にもかかわらず寄贈者20名、食品数664点と前回よりも大幅に増えました。「負けとられん!」の気持ちと皆で助け合おうという気持ちが伝わってきました。「もったいないをありがとうに」の笑顔の輪がどんどん大きくなっていくようにとても嬉しく思います。お寄せいただいた食品はいしかわフードバンク・ネットを通して中能登町社会福祉協議会にお届けしました。

開催日 6月15日(土) 場所 宅配ステーション袖ヶ江

地域協議会行事の報告
「くみかつブログ」はコチラ



地域の中学校の広報が回覧板の中に入っていた。その年度の第1号らしく、先生方一人ひとりの自己紹介コーナーも載っていた。お名前や担当の教科、部活動などに加え、「休日の過ごし方は?」という質問があり、「ドライブ」「映画鑑賞」「ガーデニング」など多様なお答えが…。一通り読み終えて、ふと、自分なら何と答えるだろうか?と考えた。「はて?私の休日はいつ?」「仕事を辞めてからは、家事はもちろん、孫たちの育児サポートや家族の通院の付き添いなど、昼寝をする暇もない毎日である。

久しぶりに辞書を引くと、休日とは「労務や授業がない日」らしい。どこかに勤務しているわけでもなく、報酬もないように思う。共働きの人々も、休日⇨勤務がないだけで、たまった家事をこなす日になっているのかもしれない。

「休日」とは?
書き人 S
hello